

大型タンク車の追突事故（北海道石狩郡当別町）

【概要】

平成30年2月13日10時36分頃、空積載の大型タンク車が、片側2車線の直線道路の第1通行帯を走行中、**前方に対する注意を怠り**、信号待ちで停止していた軽乗用車に追突して前に押し出し、結果3台の車両が関係する多重追突。



【背景】

- 運転者 ・通り慣れた、距離が長い直線道路のため、遠くの山並みに注意が移り、**脇見運転等**になった可能性。
- 事業者 ・**通り慣れた長い直線道路**では単調な運転が続き、**注意力が散漫になりがちになることを認識させる指導**が不十分。
 - ・適性診断の結果(交通状況をよく見ようとする積極的な姿勢の不足等)を**運転者が理解し、運転に反映されているかの確認**が不十分。



【再発防止策】

- 運転者 ・**貨物を安全、確実に輸送することが社会的使命**であることを意識しましょう。
- 事業者 ・**注意力が欠如した状態での運転に重大な危険性**があることを理解させ、**長く単調な運転が続く場合には休憩を取る**よう運転者に指導しましょう。
 - ・適性診断結果を伝達するだけでなく、**運転の改善に努める**よう継続的に指導しましょう。

